

BZ 台付管を

マンホール・ヒューム管とカンタン接続！

Diverse Pipe TM
ダイバース管 PAT.P

ダイバース管は、BZ 台付管をマンホール・桧・ヒューム管と接続する高強度管です。

構造と特徴

高性能ゴムジョイントが
管に埋め込まれており
接合が容易

2段ソケット構造により
台付管、ヒューム管どちらも接続可能

ソケット
側

管厚が厚く
高強度

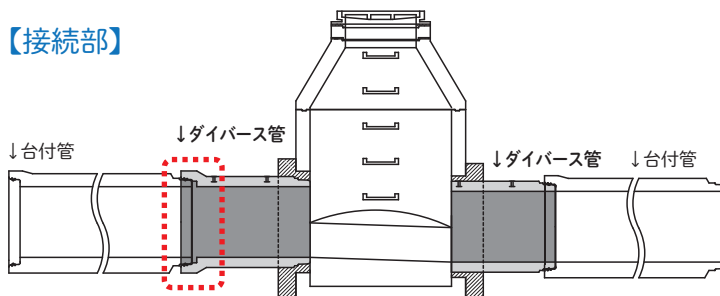
スピゴット
側

※台付管と同程度の土被りとする場合は、コンクリート 180° 巻き立て基礎が必要です。

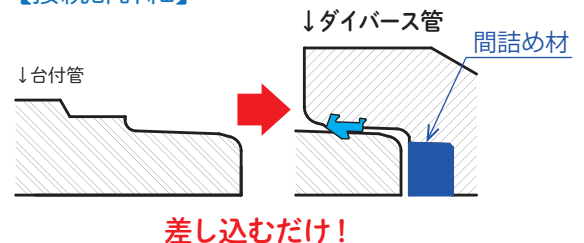
台付管をマンホールや桧と接続する場合

マンホール・桧の穿孔径を小さくできます。
場合によってはマンホールや桧の小型化が可能です。

【接続部】



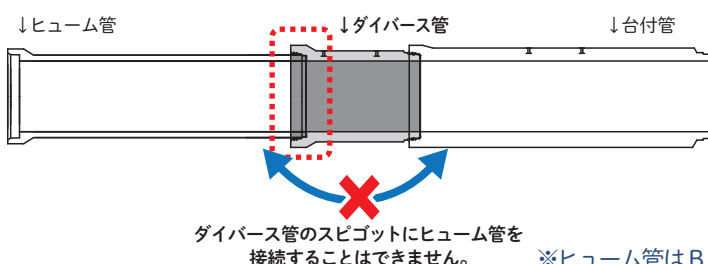
【接続部詳細】



ヒューム管に台付管を接続する場合

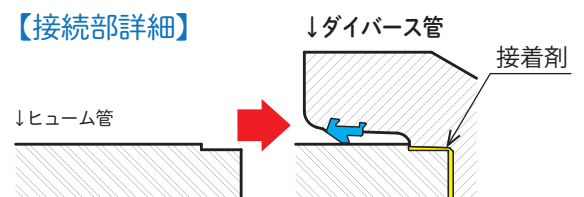
桧を介さずに管種を変換することが可能です。

【接続部】



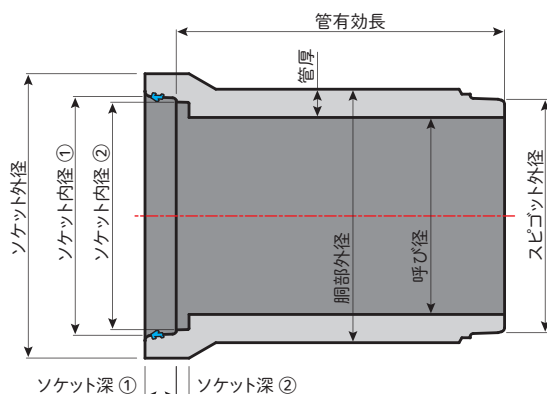
ダイバース管のスピゴットにヒューム管を
接続することはできません。

【接続部詳細】



接着剤を使用して接続します。

※ヒューム管はB (NB) 形1種および2種 (JIS A 5372, JSWAS A-1) に対応します。

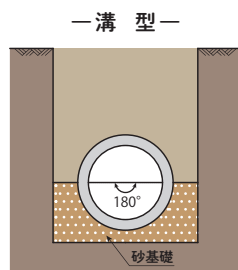


呼び径 mm	寸法									質量 kg	ひび割れ 規格荷重 kN/m
	管有効長 mm	管厚 mm	胴部外径 mm	スピゴット外径 mm	ソケット外径 mm	ソケット内径① mm	ソケット深① mm	ソケット内径② mm	ソケット深② mm		
φ 600	1000	86	772	713	866	727	95	694	39	490	54.8
φ 700											
φ 800	1250	101	1002	935	1122	955	110	922	43	948	55.9
φ 900											
φ 1000											

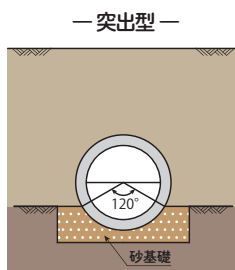
○ 土かぶり範囲 (T-25の場合)

呼び径 mm	砂基礎 (設計支承角90°)						コンクリート基礎 (設計支承角180°)					
	溝型			突出型			溝型			突出型		
	砂質土・粘性土		砂質土		粘性土		砂質土・粘性土		砂質土		粘性土	
	最小 m	最大 m	最小 m	最大 m	最小 m	最大 m	最小 m	最大 m	最小 m	最大 m	最小 m	最大 m
φ 600	0.28	7.38	0.28	3.98	0.28	3.09	0.16	10.71	0.16	5.77	0.16	4.54
φ 700												
φ 800	0.38	5.76	0.38	3.20	0.39	2.46	0.23	8.48	0.23	4.69	0.23	3.68
φ 900												
φ 1000												

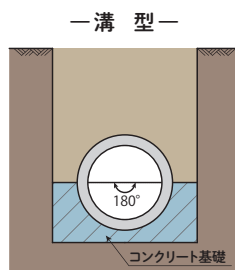
イメージ図



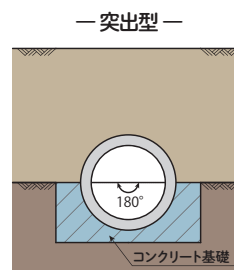
設計支承角90°



設計支承角90°



設計支承角180°



設計支承角180°

※ 開発中

※ 台付管の土かぶり範囲同等

※ φ600についてはお問い合わせください。

※ 土の単位体積重量: $\gamma_s=18\text{kN/m}^3$ (砂質土、粘性土)、安全率: $F_s=1.25$

※ 土かぶりの計算は、「道路土工 カルバート工指針 (公社) 日本道路協会」に基づいています。

※ イメージ図は、「道路土工 カルバート工指針 (公社) 日本道路協会」に基づいています。
(砂基礎も上図の通りです)